



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
3/14 (月)	+ 400	+ 4,600	+ 5,000	国庫短期証券 発行・償還 (3M) 社会保障費支払い 源泉税揚げ	CP買入 ▲ 400 国債補完供給 + 100		欧: ユーロ圏財務相会合
3/15 (火)	トン	+ 3,000	+ 3,000				米: FOMC (1日目)
3/16 (水)	トン	+ 5,000	+ 5,000	流動性供給	国債買現先 ▲ 40,000 貸出増加支援 ▲ 28,000 共通担保 (全) ▲ 2,600	CP等買入 + 5,000	日: 貿易収支 (2月) 米: FOMC (2日目)、パウエル議長会見
3/17 (木)	▲ 1,000	+ 3,000	+ 2,000				日: 金融政策決定会合 (1日目) 米: 新規失業保険申請件数 (12日終了週) 欧: ラガルドECB総裁講演
3/18 (金)	▲ 2,000	+ 11,000	+ 9,000				日: 金融政策決定会合 (2日目)、黒田総裁会見 全国CPI (2月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初528兆1,400億円から始まった。その後、8日・9日に実施された国債買現先オペを主因に533兆0,000億円まで増加したものの、週末となる11日には国債発行を主因に減少し、531兆9,900億円で越週した。無担保コールON物加重平均金利は週初△0.007%から始まったが、その後は地合に大きな変化はなく、△0.008%～△0.007%のレンジで推移した。3日積みとなる11日は、資金調達に目途を付けたビットサイドが調達量を抑制したことから一部オファーサイドが運用レートを切り下げ、同金利は△0.010% (速報) に低下した。ターム物はオファーが少なく閑散としていたが、1～2W中心に△0.005%～△0.001%のレンジで出合が散見された。

来週の主な予定は、国内で17・18日に金融政策決定会合の開催や18日に全国CPI (2月) の発表などがあり、海外では15・16日にFOMCの開催や17日にラガルドECB総裁の講演などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.085 ~ 0.001
1M	△0.050 ~ 0.020
2M	△0.020 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.100
6M	0.000 ~ 0.130

<レポ>

足許GC取引は週初△0.08%近辺で始まった。8日にはTNで3兆円、9日には3月16日エンドで4兆円の国債買現先オペがオファーされたものの、大きなレート変動はなく、△0.09%～△0.08%の水準で取引された。短国3Mの入札が行われた14日受渡しの取引ではレートが上昇し、△0.07%近辺の出合となった。SC取引は2年424～434回債、5年137～150回債、10年333～365回債、20年164～179回債、30年69～73回債、40年9～14回債などに引合が多く見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.000
CP 3M	△0.090 ~ 0.000

<CP>

今週の入札発行総額は約1兆4,300億円で、週間償還額 (約1兆3,900億円) を上回った。発行市場は、期内物を中心に電気機器や鉄鋼業等の銘柄で大型の発行が見られた。発行残高は先週末の26兆4,775億円から、10日時点で26兆4,920億円に増加した。発行レートは、発行期間3ヶ月程度の期越え案件や希少銘柄を中心に深いマイナスレートでの応札が見られた。一方、期内案件や大型発行銘柄等ははやレート水準の上昇が見られた。

来週の週間償還額は、約1兆400億円となっている。発行市場は、決算期末の有利子負債圧縮を見据え、ショートタームの発行が中心となるであろう。一方、資源高や海外情勢の先行き不透明感等から、一部企業では資金需要が潜在しており、予防的な資金調達を含めてCP発行に動くケースも予想される。発行レートはコロナオペ担保目的等の引受需要の強さから、希少銘柄や一部の期越え案件等はマイナスレートを中心とした出合となるであろう。

<TDB>

3月9日の6M1064回債の入札は、最高落札利回り△0.0804% (前回債△0.0766%)、平均落札利回り△0.0823% (前回債△0.0766%) となり、3月11日の3M1065回債の入札は、最高落札利回り△0.0800% (前回債△0.0856%)、平均落札利回り△0.0875% (前回債△0.0934%) となった。来週は3月16日に1Y、17日に3Mの入札がある。